



御殿場市文化協会

ごてんば市文化協会だより

くろつぐみ



(市鳥)くろつぐみ
(市木)けやき
(市花)富士桜

令和元年7月

第73号

発行 御殿場市文化協会

加盟団体数 142団体
会員数(H31年4月現在) 約4,000名



文化協会研修旅行
令和元年5月23日

城ヶ島海岸 馬の背洞門にて

— コンテンツ —

- 文化功労表彰者紹介…………… 3
- 文化協会役員紹介…………… 4.5
- 文化の風…………… 6.7

会長挨拶

文化芸術の振興と伝承

御殿場市文化協会会長 **米光 博**



私この度、御殿場市文化協会会長の大役を仰せつかりましたが、まだまだ未熟者であり皆様方のご指導を仰ぎながら、微力ながらも御殿場市の文化芸術の振興と、市民文化の発展向上に寄与すべく、全力を傾注し努力する所存であります。今後とも市民の皆様には、これまで同様に協会の各事業にご理解を賜り、引き続きご支援ご協力をお願い致します。

さて当協会は今年で創立六十一年を迎え、会員も約四千名を数える大きな組織に成長しましたが、文化協会は単なる趣味人の集まりで、道楽者の世界と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、決してそうではありません。

当協会の目的は市民文化の発展向上は基より、文化の伝承という大きな役割も担っています。しかし今、日本の伝統文化と呼ばれる多くが、少子高齢化により、存続の危機を迎えています。文化は人々の心の拠りどころであり、日本の歴史でもあり、これは日本の大きな財産です。したがって文化が途絶えるということは、大きな財産を失うことになります。

これらの貴重な財産を後世に伝えるためには、特別な知識や技術を有する人々に、活動の機会や場を提供し、活動状況を多くの人々に周知し、理解に努めながら守り育てる組織が必要不可欠となります。そこに文化協会の存在意義があるのです。したがって会員の皆様は、文化の重要性を充分理解された上で前述の大義のために切磋琢磨し、自学研鑽に励み、日夜文化活動を楽しんでいます。

今、協会も大多数がご高齢の方たちですが、皆様文化活動に生き甲斐を見出し、大変元気に嬉々とし活躍されています。これも文化の持つ大きな力ではないのでしょうか。文化協会の活動に興味を持たれた方は、是非協会にご加入され、大勢の仲間達と一緒に嬉々として人生の余暇を楽しんでみませんか。

教育長挨拶

勝亦 重夫



映画館の消えてしまった御殿場市ですが、年に1回、文化協会主催の名画劇場が行われます。映画好きの私にとって楽しみな事業です。これまでのラインナップに「さすが文化協会」といつも感心します。

文化協会の皆様には、日頃より市の芸術文化活動の活性化のためにご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。文化協会は加盟団体が140を超える大きな組織です。まさに御殿場市の文化を支え、そして積極的にけん引していただいています。

御殿場市内の多くの小中学校では、校歌の歌詞に「文化」という言葉が入っています。「文化の風」「文化の香り」といった表現は、私たちの生活が営まれる中で、「文化」を創ることを自然と意識し、生活と密着した「文化」を育んできたことを示しています。人々が生活を送る中で、文化の風や香りの中に身を置き、心地よく生きていたいと誰しも思います。

本年度も、本市が掲げる「市民が主役の、芸術文化が香るまちづくり」のために、文化協会の皆様のお力添えをいただきますようお願いいたします。

文化功労表彰者紹介



山本敦美

北駿写真愛好会
(写真協会)

北駿写真愛好会は昭和48年に発足。以来団体の会長や写真協会の会長を歴任し、平成19年から、全日本写真連盟御殿場支部長、さらに全日本写真連盟の県の本部役員を現在に至るまで務めています。

また、平成27年に発足した御殿場アート作家協会の会長を28年から務め、全日本写真連盟富士支部、沼津支部で講師を務め、長きにわたり写真技術の向上と写真文化の発展に大きく貢献しています。

市江洋子

和装工房
(和装連盟)

平成8年から協会に入会し、平成17年から自身が新たに立ち上げた和装連盟の代表をつとめて現在に至っています。

学校出前講座、地域の文化祭、子ども体験教室などを通じて、日本の伝統の和裁の普及にも熱心に取り組み、また海外(アメリカ)での和装展の開催、市民会館小ホールでの和装ファッションショー、秩父宮記念公園での和装展、着付け体験等、常に精力的にイベントを主催しています。

平成24年度に静岡県知事賞(優秀技能賞)を受賞しています。

くろつぐみ寄稿

教育部長 田代学



人類の営みは社会を変え文化を創ることで発展してきました。そういった意味では科学技術の発展による人口知能(AI)の進化も文化の一つと言えます。

以前は、AI研究開発が加速することで、我々の暮らしが豊かなものになると考えられていましたが、ことはそう単純でないようです。2045年にはAIが人間の脳を超えるシンギュラリティ(技術的特異点)に到達すると言われていています。そこに到達するとAIがさらに優れたAIを加速度的スピードで生み続けることとなり、科学技術はもちろんのこと文化さえも人口知能が生んでいく社会が到来すると想像されています。

文化とは何でしょうか、「人類の理想を実行していく、精神の活動。技術を通して自然を人間の生活目的に役立てていく過程で形作られた、生活様式およびそれらに関する表現」です。我々人類は、文化そのものさえもAIに乗っ取られないよう、AIに絶対真似のできないさらなる文化活動に邁進する必要があります、今まさにその正念場に差し掛かっています。




今後も文化協会の皆様と、人類の手による文化の継承・発展に取り組んでいきたいと考えております。

文化協会役員



お任せください。
わがまちの文化を
私達が支えます。



 会長 米光 博	
 副会長 勝間田 英幸	 副会長 芹澤 智子

評議員



芹澤游葉
(書道)



土屋ナミエ
(洋舞)



山内信雄
(民謡)



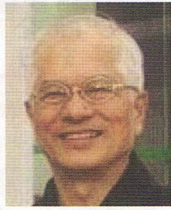
高田よし子
(合唱)



伊倉美代子
(華道)



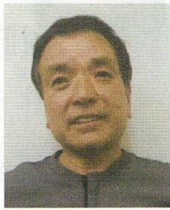
日置富貴子
(民踊)



小川導男
(詩吟)



高田香
(器楽)



川波俊昭
(園芸)



小林繁明
(アマチュアダンス)



松永英子
(吟剣詩舞)



西本博一
(三曲)



杉江敏子
(美術)



高田恵五
(俳句)



木内喜久子
(日舞)

理事



磯邊壽慶



栗原富夫



鈴木陽子



川口修江



高橋 武



福井真澄



秋田裕美



横山千枝子



令和元年度～令和2年度

薫り高い文化都市を目指して

副会長 勝間田英幸

私この度、御殿場市文化協会副会長の大役を仰せつかりました。ごてんばアート作家協会所属の勝間田英幸と申します。微力ながら御殿場市の文化向上に貢献させて戴く所存で居ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて今年新しい元号となりました令和には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められて居ります。

そしてこの文化とはカルチュヴェイトゥ（土を耕す）という意味で、人類が食料としていた木の実などを少し残して土に植えて実らせたことが、この文化という言葉の語源です。

文化は人間が作り出した哲学・芸術・道徳・宗教・科学などの精神的なものをいい、人々の心を豊かにするものです。

心を豊かにすると、感性が磨かれ表現力も豊かになります。豊かな心であれば、過酷な状況でどんなに苦しい環境で生きていても、その生きる意味をより深く味わい、人生の真の幸せを見つけることができます。常に感謝の気持ちを持てる人からは、幸せが湧いて溢れ出てきます。

市民の多くの皆様がこの文化に触れ、お金では買えない豊かさを、有意義な人生を送られることを願ってやみません。新しい令和の時代が御殿場市にとって薫り高い文化都市へと発展し、更により一層の向上を目指すため、皆様方のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

監事



高橋 浩
(民俗)



岡本ちづる
(器楽)

事務



勝又紀美子



横畑節子



小宮山洋子

社会教育課



勝又久生
(事務局長補佐)



山崎和夫
(事務局長)



黒川千佳
(事務)



米津亮信
(事務)



小野恵理
(事務)



市江洋子
(和装)



横山秋好
(囲碁)



水口菊子
(手工芸)



飯塚昭夫
(歌謡・歌唱)



田代 悟
(将棋)



天野公俊
(民俗)



勝亦 裕
(アート作家)



渡辺登美子
(着付)



佐藤陸
(写真)



岡崎京子
(生活文化)



野木美津子
(茶道)



第29回 全国椿サミットを終えて

手工芸連盟 富士原 浩次

4月6日～7日に全国椿サミット御殿場大会が開催されました。

市民会館でのサミット会議、小ホールでの文化展示、秩父宮記念公園、岸邸での椿展示と椿にゆかりのある都市を巡る全国的な椿のイベントです。今年は御殿場市がその会場になりました。その結果、文化的な椿に関する展示会場である市民会館小ホールは、文化協会が市より依頼される事になり、その際の小ホール全体を総合的に演出をして貰えないかと、お話を頂きました。私が以前、御殿場や箱根のホテルでのサロンコンサートや、国民文化祭の折の茶会会場の演出をしたこともあり、トータルに演出との依頼でした。

見慣れた小ホールでしたが、あらためて全体の空間や壁面利用の可能性、照明などを確認して、過去の開催都市とは異なる展示をするにはどうするか思案を重ねました。その上で文化協会加盟の各団体や御殿場高校の生徒のボランティアなどのお力を得て展示する事ができました。ありがとうございました。



～ 新しい仲間 ～

『 御殿場市書道連盟 書道研究清明社 』

代表 高野清玄

「清明」清く明るい生が満ちる意。(二十四気の一つ、今年は4月5日)生き生きと生命感ある書を目指して書道研究する会です。

硬筆(手紙上手に)、実用書(名前くらい筆で)から展覧会作品まで何でも書けます。毎月の競書誌の成績に一喜一憂しながら、高野山競書大会表彰式にご招待されたり、創玄展毎日書道展に入選し、ホテル祝賀会での乾杯したり、日展にも挑戦する方もいます。清明の時期に発芽し、書道を通して上達することは、人間としても成長すること、前向きな向上心のある人生を自分自身で作りに出していることです。自分の好きな詩歌を筆を使って表現し、自宅や郵便局、市民会館などに書道作品を飾る事で芸術的な空間が広がります。一緒にお茶を頂きながら筆文学を楽しみましょう。

文化協会の仲間に入れて頂き、私達の書道活動が御殿場市の文化の活性に少しでも役立てば幸いです。宜しくお願い申し上げます。



文化の風

沖縄民踊フェスティバル30周年記念大会に参加して

6月30日(日)に沖縄市で開催された民踊フェスに「全日本民踊指導者連盟」として全国各地から約300人の会員が参加し、御殿場市民踊連盟からは5人の精鋭たちが体育館に花を咲かせました。「踊りの輪は人の和」を合言葉に県内外の民踊愛好家達との親睦を深められ、とても有意義な時間でした。



民踊連盟 芹澤智子



美術協会 ファミリーアートの会

小林 茂

「ファミリーアートの会」は、御殿場市が生涯教育の一環として油絵教室を開講し、その受講生達で結成された会です。前代表の芦田さんがまとめ役のリーダーとなり、平成元年から令和元年までの一時代を、良き絵仲間と過ごしてまいりました。

この会は、月に2回室内で静物画を描き、春や秋には外のスケッチに出かけ、美術館巡りも年数回実施してきました。また、年1回のファミリーアート絵画展も今年で29回を数え、多くの皆様^{あいあい}に会場に足を運んでいただきまして、厚く御礼申し上げます。

この絵画展も5年前から新企画として、会員が同じ題材で絵を描くコーナーを設けました。1回目は「模写」、2回目は「橋のある風景」、3回目は「動物」、4回目は「果物」、そして今年「花」でした。私達の絵画展も来年は30回を迎え節目の時ですので、会員と協議して新しい企画で開催する予定です。

これからも、絵を描く楽しさを忘れず、会員同士和気藹藹と活動して行きたいと思いをします。



研修旅行後記



今回、事務局としてはじめて旅行に参加させていただきました。まずは、神奈川・三浦半島の最南端「城ヶ島」へ。青空に浮かぶ真っ白な城ヶ島灯台の前で記念写真を撮影後、お目当ての「馬の背洞門」へ。右手に見事な千畳敷と太平洋を見ながら30分のハイキング。頑張って歩いた甲斐があったと思える圧巻の景色でした。

広大な「長井海の手公園ソレイユの丘」海鮮バーベキューにて腹ごしらえ後、横須賀で「軍港めぐり」の遊覧船に乗船です。楽しい案内人さんの解説を聴きながら、双眼鏡とカメラを次々と持ち替え、潜水艦・護衛艦・イージス艦を堪能しました。しめくりは「護衛艦かが」。全長248メートルという大きさに圧倒され大満足のクルーズでした。

この日は一日とても良いお天気で、島の散策とクルーズには、最高のコンディションでした。真っ青な空と真っ青な海を存分に堪能できました。参加した皆様の日頃の行いが良かったのだと思います。(事務局・勝又記)



第22回 名画劇場

にちにちこれこうじつ

日日是好日

9/21(土) 13:00開場 13:30上映

御殿場市民会館 大ホール 全席自由
前売り券/500円 当日券/700円

チケット取扱所 ●御殿場市民会館 83-8000 ●エピソードセンター

主催/御殿場市文化協会・御殿場市民会館 後援/御殿場市
問合せ/御殿場市民会館 TEL 83-8000 /御殿場市教育委員会



第18回

National Institution For Youth Education
NIPPON KODOMO JIYU KINON KAKI
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

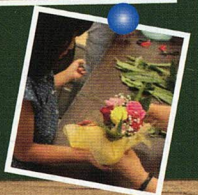
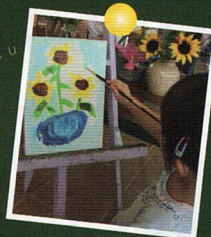
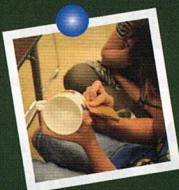
文化少年団

みんなのやってみたいをまっています

体験教室

2019

8月7日(水)



無料 囲碁・将棋・俳句・お琴演奏・折り紙・ストロー細工

300円 和紙ちぎり絵・押し花・茶道・フラワーアレンジ・いけ花・籐工芸・
革工芸・すみ流し染

400円 アートポーセリン

500円 陶芸・油絵

主催：御殿場市文化協会育成事業部 後援：御殿場市教育委員会

お問合せ
御殿場市文化協会
(市民会館事務室内)
☎0550-82-4533

御殿場市民会館小ホール
10:00~15:30 (最終受付15:00)
幼児~中学生までご参加
いただけます

GoGo86.3
富士山GOGOエフエム

出演団体出演者募集中!!

◎番組名: FujiyamaSunshine
(フジヤマサンシャイン)

“カルチャーナビ”コーナー毎週火曜日12:30~12:40

このコーナーでは、御殿場市文化協会に加盟し、日々文化活動に精進している団体や個人にスポットをあて、1~2週にわたり活動内容や団体誕生秘話、これまでの歩み、会のモットー、とっておき情報、会員の皆様の熟練の技など直接スタジオに行き担当パーソナリティーとお話します。また、番組の最後ではその週の協会、市民会館関連のイベント情報、チケット情報などの告知もさせていただきます。是非、地元のFMラジオに出演して皆さんの活動をPRしてみてください!

題字/鳥宮 暁秀

御殿場市文化協会

御殿場市民会館内 〒412-0042 御殿場市萩原183-1

URL <http://gotemba-bunka.jp> Mail info@gotemba-bunka.jp TEL 0550-82-4533



御殿場市文化協会

ごてんば市文化協会だより

くろつぐみ



(市鳥)くろつぐみ
(市木)けやき
(市花)富士桜

令和元年7月

第73号

発行 御殿場市文化協会

加盟団体数 142団体
会員数(H31年4月現在) 約4,000名



文化協会研修旅行
令和元年5月23日

城ヶ島海岸 馬の背洞門にて

— コンテンツ —

- 文化功労表彰者紹介…………… 3
- 文化協会役員紹介…………… 4.5
- 文化の風…………… 6.7